

タンザニアの世界遺産

キルワ・キシワ ニとソンゴ・ム ナラの遺跡群	タンザニア南部のインド洋上の島。 この2つの島はかつて交易の拠点として栄えたところで、イスラムの 遺跡が残されている。
ザンジバル島の ストーン・タウ ン	インド洋に浮かぶザンジバル島の古い町並 10世紀頃からアラブ商人が定住。1498年にバスコ・ダ・ガマの航海 の途上の上陸地点の一つ。東アフリカ地域ではほかに見られない独 特の都市景観をつくり出している。
コンドアの岩絵 遺跡群	2000年以上にわたって描かれ続けてきた岩絵（ロック・アート）が 残されている。この絵を長い間描き続けてきた人々が狩猟民から牧 畜民へと変化していったことを物語っている。また岩絵のある場所 は、今ここで暮らす人々によって現在もさまざまな宗教儀礼などに 使われている。
セレンゲティ国 立公園	マサイ語で「果てしなく広がる平原」 広大なサバンナで、自然保護を目的に設立された国立公園
セルース猟獣保 護区	元々は狩猟用の保護区として設定されたもの。現在は狩猟が禁止さ れた純粋な保護区となっている。動物保護区としては世界最大級の 面積を誇る。
キリマンジャロ 国立公園	アフリカ最高峰のキリマンジャロ（標高5895m）の山域に位置す る国立公園。75万年ほど前からの火山活動で作られた美しい山並 みと多様な動植物が評価されている。山頂部には赤道付近に位置 しているにも関わらず、巨大な氷河が存在していた。
ンゴロンゴロ保 全地域	数百万年前に出来た火山のカルデラ（ンゴロンゴロクレーター）に 広がる大草原。多種多様な動物が生息。また、初期人類の化石や足 跡の化石などが発見された「オールドバイ渓谷」もある。

タンザニアとは



面積：945,087km²（日本の2.5倍）

人口：6390万人（2022年）

民族：バントゥー系アフリカ黒人が95%

言語：スワヒリ語

宗教：キリスト教が30%、イスラム教が35%、伝統的宗教が35%
ザンジバル島ではほぼ100%がイスラム教

首都：ドドマ（最大都市はダルエスサラーム）

産業：GDPの半分以上、輸出の80%、雇用の85%は農業



ンゴロンゴロ自然保護区



セレンゲティ国立公園



キリマンジャロ国立公園



コンドアの岩絵遺跡群



サンジバル島のストーン・タウン



セルース獵獣保護区



キルワ・キシワニと
ソongo・ムナラの遺跡群

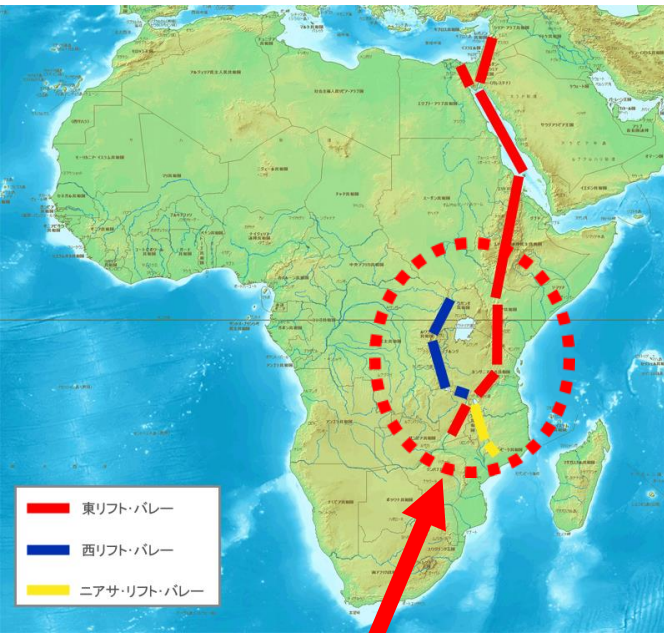


タンザニアの世界遺産



人類誕生の地

アフリカ大地溝帯 Great Rift Valley



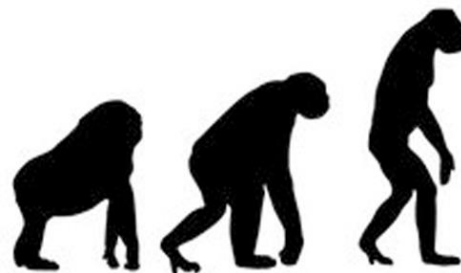
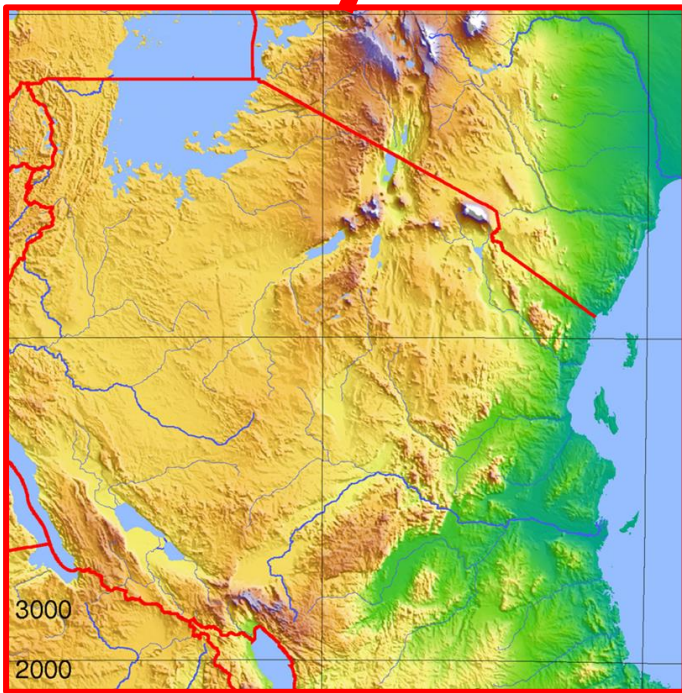
発見される人類化石の多さから、大地溝帯は「**人類生誕の地**」とも呼ばれる。



約1000万年前から、地球内部のマントルの対流により周囲の地殻が押し上げられ、さらに地殻マントル上昇流が東西に流れることで、アフリカ大陸東部を**東西に分離する大きな溝**が広がった。

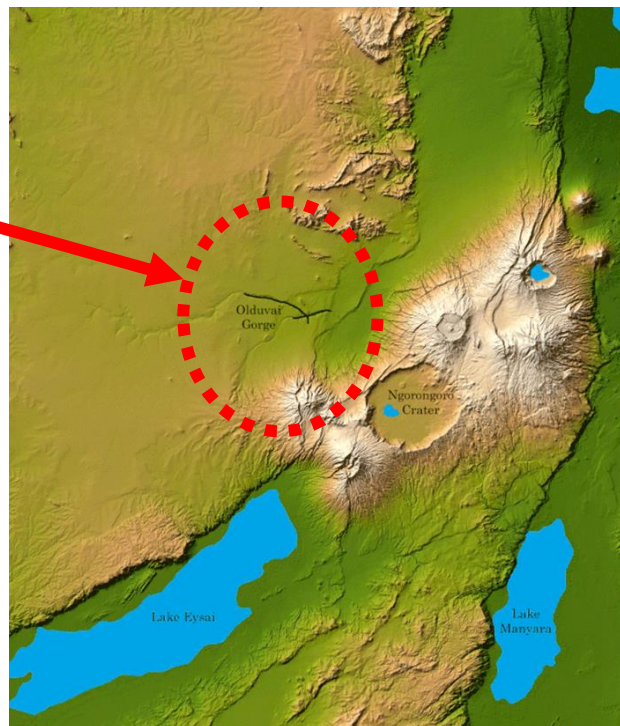
その周辺に高地や山脈を含む隆起帯が形成されたことにより、大西洋側から大陸東部に湿った空気がさえぎられ、大地溝帯の東側は徐々に乾燥して森林が衰退し、やがてサバンナ（草原）に変わっていった。

森林に住んでいた多くの類人猿は、この環境の変化に適応できず絶滅したが、ヒトの祖先は樹上から地上に降りて、直立二足歩行に移行した。



オルドヴァイ (Olduvai) 渓谷

北部のンゴロンゴロ保護区にある幅 数百m、全長 40kmにも及ぶ巨大な渓谷



1913年にドイツのハンス・レック教授が「**オルドヴァイ人**」と呼ばれている化石人骨を発見
1959年、イギリスの人類学者ルイス・リーキー博士夫妻が猿人の化石人骨（約180万年～約170万年前の完全な頭骨）と最も原始的な石器を発見

★アウストラロピテクス・ボイセイ（ジンジャントロプス・ボイセイ）
Australopithecus-Zinjanthropus Boisei と命名

1964年に同じくルイス・リーキーが原人ホモ・ハビリスの化石（約150万年前）を発見



およそ360万年前のものと推定される足跡化石

小さい足跡が子供、そして子供と手をつなぎながら一緒に歩く父親と、その父親の後をついていく母親
360万年前の家族の光景が目に見えるような足跡。